



広報

なみおくに

発行 南小国町役場 TEL 2-1111 印刷 白木印刷(株) TEL 62-1255

町の人口

1月末現在	
総人口	5,771人
男	2,750人
女	3,021人
世帯数	1,360戸

No.136



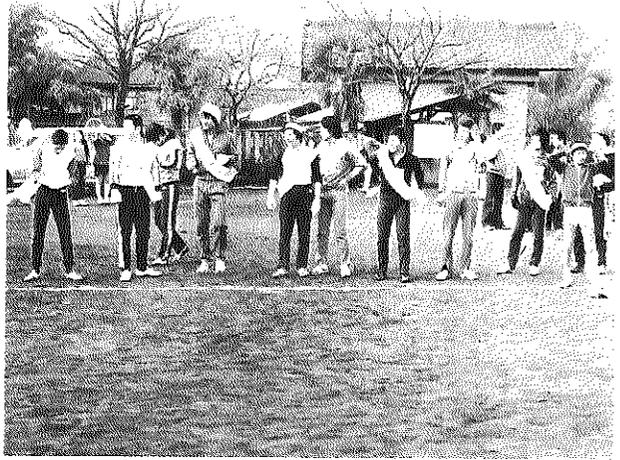
3月号 / 50

統一地方選挙真近か！

南小国町 町議会議員 長選挙 告示日4月20日 投票日4月27日

熊本県議会議員選挙 告示日4月1日 投票日4月13日

公明選挙を呼びかける
駅伝大会 14チームの参加



明るい選挙のタスキを胸にスタートに立つ
各選手団 市原小学校グラウンド

今年選挙の当り年と言われる
本町も公明選挙を呼びかけるた
め、駅伝大会が催された
去る三月二日(日)本町におい
ては南小国町体育協会、市原支部
の主催でマラソン大会が実施され
公明選挙を住民に呼びかける意味
から、明るい選挙と書かれた、タ
スキをかけて、地区対抗の駅伝大
会が実施された。

校、南小国中学校A・Bチーム、
志津・湯田チームによって挙技が
きそわれた。又特別参加として、
中原(湯田上)出身の、大東文化
大に在校中の鞭馬講二選手22歳も
全区間二十キロを一時間二十二秒
と云う好記録で完走した。

成績は次の通り。

一位 馬場チーム 二位 T・S・
I(田中・千光寺・竹ノ熊) 三位 杉
田 四位 下町 五位 里組 六
位 本町 七位 脇戸 八位 上
町 九位 新町の順となつている

小国林業と密接なつながりのあ
る土駄引馬に思いついた小国町上
田の秋吉太平さんは十年前、山林
の中に依り捨て、ある廢材を利用
して加工することに苦心研究のあ
げく漸く製品を仕上げることが出
来た。

素朴な製品は今では小国郷土の
觀光土産品として声価を高めて需
要に応じきれぬ売行を示している。
秋吉さんは昨年の三月下旬、上
京して東映の監督近藤久也氏と俳
優の渡辺文雄氏(東大卒)に面接し
て、小国郷土のことについてつづ
きに説明した熱意が相手方の心を

観る人も
演る人も
共に楽しみ
さんざめいている時

この里の秋が終る
又演劇に使用する道具のことに
ついて青年達から男のマゲが不足
していることを聞き合せて、帰京
してから間もなく秋吉さんを通し
て男マゲ五人分(百万円相当のも
の)が送られて志津劇団の青年達
を大いに感激させた。

この貴重な贈り物のマゲは、五
月に入つてRKKの招待を受けて
志津劇団が「あなたの一〇・三〇

受賞に輝く志津劇団

動かして秋吉さんと共に小国地区
へ足を運ぶことになった。

東映のテーマ「遠くへ行きたい」
の小国ロケは一週間に亘つて郷内
の各地を巡回した。

四月五日には山あいのた、ずま
い志津部落を訪れて、古刹満願寺
とゆかりの史跡を探究して殊更に
関心が高まり、これが合縁奇縁と
なつて、二人の珍客を囲んで部落
の人々は一晩、静泉荘旅館で会合
の宴席を開いた。話が進行して部
落に古くから伝わる青年芝居のこ
とに話が移ると渡辺氏の興味を誘
いこんで次のサインを物した。

AM」に一幕出演した時に活用さ
れて青年達の気分を新にした。

志津劇団の起りは古く大正時代
の初期にさかのぼつて、天皇即位
の大典を部落民こそぞつて祝いの踊
りを催したことが始まりで、それ
以来十一月二十五日の満願神社の
秋祭りに奉納芝居として続けるよ
うになつて、次々と青年に引継い
で今日に至る六十年の歴史を誇る
ものとなつた。

十一月に入ると青年達は満願寺
温泉階上に乗つて芝居のけい古を
始める。夜八時から十二時までは続
く。一日の作業を終つてからのけ

い古は夜の冷えこみもあつて並大
低ではないが若い情熱と意欲によ
つてよく堪えしのぶ。

セリフや身ぶりについては、時
々先輩の者が顔を出してアドバイ
スする。又青年達を元気づけるの
が部落婦人の差入れで、順番に夜
食や酒を運んでねぎらいする。

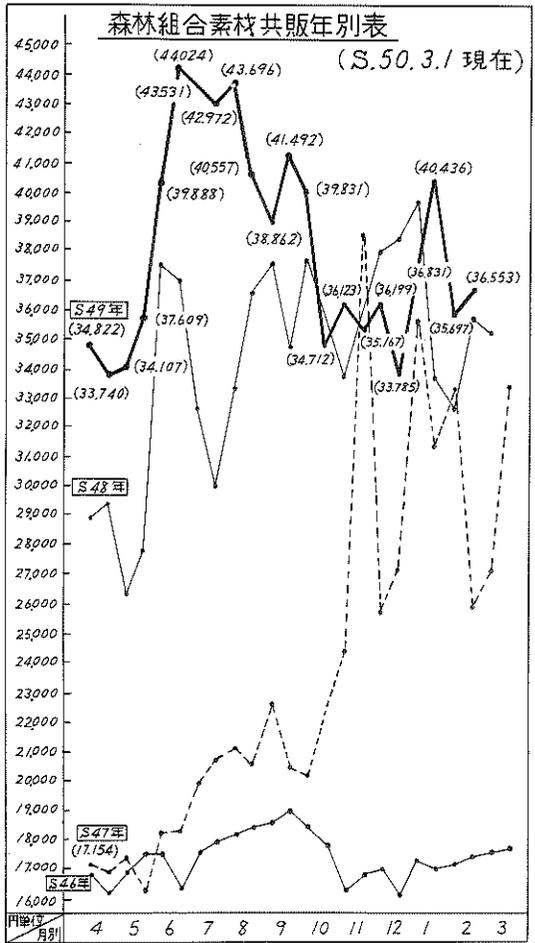
秋祭りの夜は劇場に当てられた
体育館に、家族揃つて部落民ほと
んど集つて惜しみない声援と拍手
を送つて館内で楽しい夜を過ごす
過疎化を叫ぶ現今の農村におい
て部落内の年中行事として続ける
青年芝居が、部落挙つての応援に
支えられ、青年達に活生を与え、
団結と融和を促すよさが生れ、合
せて部落民に慰安を与えるはねか
えりとなつて相互間の緊密化をか
もすことを思うとき、青年芝居独
得の持味を永久に続けて欲しいと
念願する。

昨年十二月二十三日熊本日日新
聞社に於て、志津劇団は「熊日り
ぼん章」を受け一層奮起の念にわ
いている。

受賞の光栄に浴して地域社会に
対する貢献を高く評価されたこと
は志津劇団のみならず部落の名譽
とするところである。

一九七五 節分の日

後藤元次



春の交通安全運動

期間

準備期間 昭和五十年三月一日

昭和五十年四月七日

運動実施期間

昭和五十年四月八日

昭和五十年四月七日

新入学児童・園児・生徒を交通事故より守ろうと、住民を始めとする、県民一同が一丸となって、正しい交通ルールを守り、明るい町作りを目標に実践するものであります。

(重点事項)

一、交通安全教育の推進

二、街頭指導の強化

三、広報活動の強化等を重点として展開されます。

昨年六月公職選挙法の改正があり、これに伴って、このたび公職選挙法施行令が改正され、従来からの不在者投票制度のほかに、新しく身体障害者、戦傷病者の方々の不在者投票制度が創設されました。

この制度は身体に重度の障害がある選挙人の投票に便宜を与えるためのものであり、わざわざ投票所に行かなくても、その現在する場所(例えば自宅や病院等)で投票して選挙管理委員会に郵送する方法です。

身体障害者・戦傷病者の不在者

投票制度についてのお知らせ

(1) この方法で投票することができない選挙人は、つぎの条件を満たしている者に限られます。

(2) 戦傷病者手帳を持っておられる方で両下肢、体幹の障害が特別項症から第二項症までの該当者、心臓、じん臓、呼吸器の障害が特別

の方で両下肢、体幹の障害が一級若しくは二級の該当者、心臓、じん臓、呼吸器の障害が一級若しくは三級の該当者。

項症から第三項症までの該当者。以上に該当する方は投票用紙等の請求をするとき「郵便投票証明書」が必要になりますので、今すぐに

選挙人名簿に登録されている市町村選挙管理委員会の委員長あてに身体障害者手帳又は戦傷病者手帳を添えて申請手続きをしてください。

(この「郵便投票証明書」の交付申請書の用紙は、市町村選挙管理委員会に備えてありますので御利用ください。)

この郵便による不在者投票制度は三月一日以後に公示又は告示される選挙から適用されることとなりますので詳しいことは南小国町選挙管理委員会にお尋ね下さい。



交通見舞金請求は

お早めに

皆さんも既にご存じの交通見舞金制度は、交通事故により災害を受けた方、又はその遺族の方を救済する目的を持っていますので、本町に居住している方（本町に住民票を持つ人）で、交通事故に合われた方は、早めに手続を行なって下さい。

交通事故手続方法
一、添付書類

◎交通事故証明書（当該警察署より）
◎医師の診断書

◎住民附票

等持参し役場交通安全対策係までお届け下さい。

一、交通事故報告期間は、交通事故発生の日より七ヶ月以内。

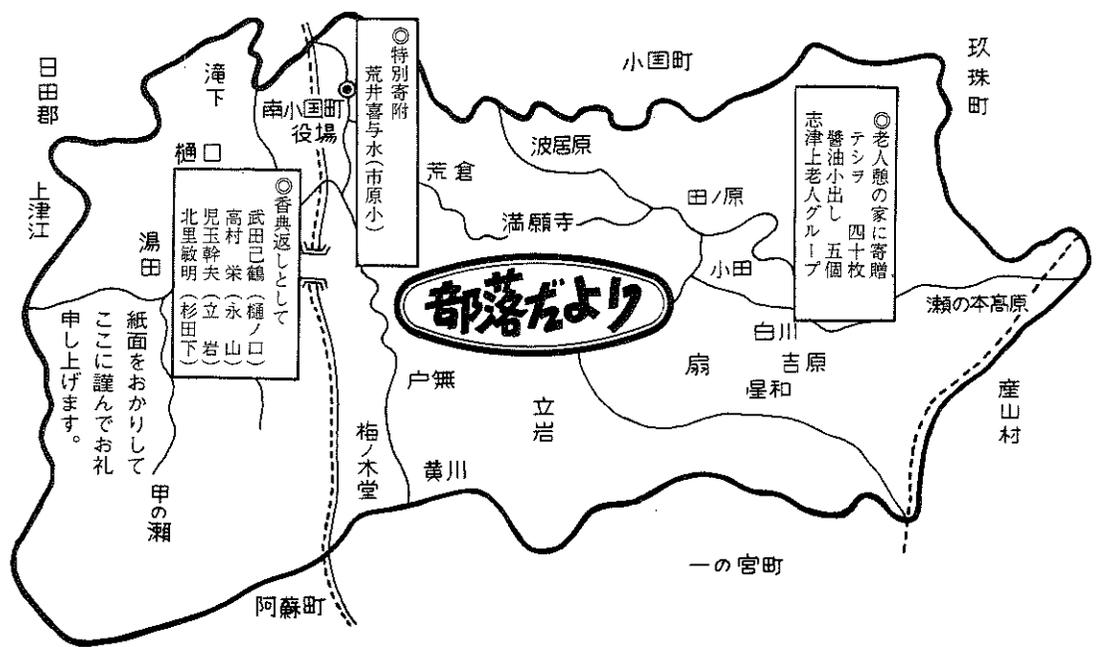
二、見舞金請求は、事故発生の日より一年以内と定められています。

三、それ以外の請求は認められません。

尚、災害の大・小区分は次の通りです。

等級	死亡又は傷害の程度	金額
一等級	死亡	十万円
二等級	六ヶ月以上の医師の治療を要する傷害	五万円
三等級	三ヶ月以上六ヶ月未満の医師の治療を要する傷害	三万円
四等級	一ヶ月以上三ヶ月未満の医師の治療を要する傷害	一万円
五等級	十日以上一ヶ月未満の医師の治療を要する傷害	三千元

この名称は熊本県町村交通災害共済組合といい、各町村の財源により人口割で負担しています。住民一人当たり一〇〇円の掛金を持つて、運営されています。



商工会便り

南小国町商工会青年部より、南小国町にちなんだ盆踊り、市原音頭を作りたいので、作詩（作曲）を募集いたします。

- 一、受付 締切日 三月中旬より五末日締切
- 二、盆踊り調子
- 三、宛先 南小国町商工会事務所
- 四、入選作品には金一封と商工会長賞を差し上げます。
- 五、入選作品の発表 七月七日七夕祭りの夜市の際に行う。

多数の応募をお待ちします。
南小国町商工会青年部
部長 栗原吉助

